

愛知県美術館 10 階の「ラウンジ」と呼ばれる八角形の空間には、開館以来レームブルックのブロンズ彫刻《立ち上がる青年》がたいてい展示されています。この作品も「あいちトリエンナーレ 2010」のために片付けました。《立ち上がる青年》は人力で持ち上げられるほど軽くないので、作業もたいへんです。この彫刻は 3 次元の揺れにも対応する専用の免震台に乗っているので、まずは免震台が動かないように固定することから始め、いくつかの作業工程を経て、収蔵庫内の予め確保しておいたスペースに収納しました。重い作品の移動は見ているだけでも疲れるものです。

(H. F.)



←免震台を固定しています。



←作品を移動します。



←トリエンナーレが終わるまで収蔵庫でしばらくお休み
です。



←残った免震台を片付ければ作業終了